（別紙書式）

2023年耳鼻咽喉科月間　申請書

作成日　2023年　4月　12日

地方部会名	愛媛県地方部会		
代表者名	羽藤直人		
担当者名	寺岡正人		
活動のタイトル	えひめ難聴フォーラム2023		
アピールポイント	歴史ある学術的研究会「愛媛ヒアリング研究会」と市民講座を融合した新たなフォーラムを開催し、医師のみならず、難聴支援に関わるコメディカル、教育者、自治体の関係者、さらに当事者や家族などと問題点を共有し、シームレスな聴覚支援を目指す。		
表彰の対象となる取り組みと波及効果を記述して下さい。図表を添付頂いてもかまいません。	**活動内容と波及効果（400字から600字程度で記入してください。）** **高齢者が人口の3割近い本邦の超高齢化社会において、1437万人以上と推計されている加齢性難聴対策は重要な課題である。難聴の自覚症状があっても医師に相談するのは48%のみであり、本邦での加齢性難聴に対する病識は薄い。難聴、特に加齢性難聴を疾病として国民に周知し、補聴器相談医の実効化、補聴器装用率、人工内耳普及率の向上が求められている。** **愛媛県では30年以上前から「愛媛ヒアリング研究会」を定期開催し、医師や言語聴覚士、補聴器技能者など多職種が参加し、聴覚に関わる様々な問題点について議論を深めてきた。本フォーラムではこのような学術的な研究会と市民講座および相談会をうまく融合させ、新生児聴覚スクリーニングから、療育、補聴器を含めた人工聴覚器の適応判定や、医療・福祉介入、リハビリテーションまで、シームレスな聴覚支援に繋げていくことを目指している。** **開催に当たっては地元の新聞社主催とし、人工内耳メーカーや補聴器販売店にも協力を依頼し、広く新聞広告等で参加を呼びかけるとともに、採録記事として新聞に大きく掲載し、参加者のみならず多くの市民に対しても、「きこえ」についての重要性や問題点を広く啓発できる。** **※フォーラムの詳細については図表を別途添付します。**		

※　記入のスペースが足りない場合は、適宜拡張してください。

愛媛ヒアリング研究会会員各位

愛媛ヒアリング研究会
会長　羽藤直人

第34回 愛媛ヒアリング研究会の開催について

先生方におかれましては，益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて，第34回愛媛ヒアリング研究会を「えひめ難聴フォーラム 2023」として，下記のとおり開催いたします。

1. 日時　令和5年3月5日（日）10:00～16:00

9:45 ～　受付

10:00 ～ 11:00　一般演題

聴神経腫瘍患者の方向感に関する検討
大六鉄兵・寺岡正人・山田啓之・瀬知亜有未・羽藤直人
愛媛大学医学部耳鼻咽喉科

反対側の人工内耳埋め込みまでの期間が長かった成人一症例の聴取成績の経過
小松咲[1]・高橋信雄[1]・兵頭純[2]
1)鷹の子病院愛媛人工内耳リハビリテーションセンター　2)鷹の子病院耳鼻咽喉科

蝸牛不感領域が聞こえに及ぼす影響について
宮崎敦也・立入哉
愛媛大学教育学部

BN-MTNを用いた雑音下聴取スクリーニング検査の開発(続報)
立入哉・石田彩
愛媛大学教育学部

心因性難聴とAPDを疑われていた生徒への聴覚的支援とトレーニング
石田彩・立入哉
愛媛大学教育学部

11:00 ～ 12:00　特別講演（領域講習）

「補聴器を用いた聴覚リハビリテーションの実際」
帝京大学医学部附属溝口病院耳鼻咽喉科　三瀬和代先生

12:00 ～ 12:30　愛媛ヒアリング研究会　役員会

13:30 ～ 15:00　市民講座「聴こえをとりもどそう」

15:00 ～ 16:00　個別相談会

2．会場　松山市立子規記念博物館4F　講堂
（松山市道後公園 1-30）

※　参加費は徴収いたしません。
※　日本耳鼻咽喉科専門医の先生は，専門医カードをご持参ください。

市民公開講座

入場無料 先着200名様
（事前申込が必要です）

～聴こえをとりもどそう～

高齢化が進む日本において「健康寿命」の注目が高まっています。難聴などの耳の疾患についての知識や、高度難聴者が聴こえを取り戻すことは健やかな生活を送るうえで大切なことと言えます。
「人工内耳」は補聴器を使用しても聞き取りにくい高度難聴者が聴こえを取り戻すための治療の選択肢のひとつです。
当講座では、専門の医師から人工内耳の最新治療の現状や適用条件などを詳しく解説します。

愛媛大学医学系研究科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
教授 羽藤 直人氏

愛媛大学医学系研究科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
寺岡 正人氏

松山赤十字病院 耳鼻咽喉科
狩野 拓也氏

開催日 **3/5日**

時間
13時開場
13時30分開演
15時閉会
無料の難聴個別相談会
（15時～16時）

会場 **松山市立子規記念博物館 4階講堂**
松山市道後公園1-30

【プログラム】13:00開場

13:30　開 会「きこえ8030運動 ―80歳で30dBの聴力を―」
愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 羽藤 直人氏

13:45　講演1「きこえのとりもどし方 ―難聴医療の進歩と人工内耳―」
愛媛大学医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 寺岡 正人氏

14:20　講演2「聴こえを取り戻した体験報告」
松山赤十字病院 耳鼻咽喉科 狩野 拓也氏

14:45　質疑応答
参加申し込み時に記入いただいた代表的な質問にお答えします。

"無料"個別相談会開催
（閉会後に愛媛大学医学部付属病院 耳鼻咽喉科医師など）
先着順20名。会場で申込受け付けいたします。

15:00～　閉 会

※プログラムおよび講師につきましては変更する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

情報保障　**会場には、パソコン要約筆記を設置します。**

このセミナーは、難聴の有無に関係なく、どなたでもご参加いただけます。

〈交通アクセス〉
電車の場合 ●市内電車城南線道後温泉駅を出て、徒歩約5分
車の場合 ●松山ICからやく8km
（お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください）

【応募方法】

愛媛新聞社HP内の応募フォームからお申し込みください。または、はがき（1人につき1通）かFAXで、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号を明記し、**郵便番号790-8511（住所不要）愛媛新聞社企画事業部「聴こえをとりもどそう」係＝FAX 089(941)8111まで**お申し込みください。
はがき、FAXの場合、聴こえに関する質問（ある方のみ）を記入いただきお申し込みください。

後日受講券をお送りします。

右の2次元コードからも応募できます。

※個人情報は、講座の運営や連絡に使用します。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、延期になる場合があります。
【新型コロナウイルス感染対策】●マスクを着用してない方は入場が出来ませんのでご了承ください。●発熱や体調がよくない方、身近な方で感染の疑いがある方、感染者と濃厚接触の疑いがある方などは、ご来場をお控えください。

お問い合わせ　愛媛新聞社企画事業部「聴こえをとりもどそう」係 ☎089-935-2322（平日9:00 ～ 17:00）

主催　愛媛新聞社　協賛　株式会社 日本コクレア

8030キャンペーン ~80歳で30dBの聴力を~

愛媛大学耳鼻咽喉科　教授　羽藤直人

〈2023.3.5 市民公開講座　-聴こえをとりもどそう-〉

柿くへば

鐘が鳴るなり

人工内耳